

参考資料 2

科学技術・学術審議会
人材委員会（第 94 回）
令和 4 年 10 月 26 日

資料 2－1

科学技術・学術審議会
人材委員会（第 92 回）
令和 3 年 10 月 21 日

博士人材のキャリアパスに関する主な論点

1. 博士人材のキャリアパスに関して、現状の課題は何か。

【議論にあたっての主な視点】

- 大学、企業等の各コミュニティにおける博士人材の活用（役割、評価等）
- 大学院における教育（トランスファラブルスキルの習得、国際性の涵養など）
- 研究室における研究指導環境
- 企業の人材ニーズや人材育成への考え方
- 企業と学生とのマッチング（企業の採用手法等）
- 学生の意識やキャリア知識、スキル
- 学生の就職活動と研究活動の両立
- 分野や地域、性別によるキャリアパスの違い
- 博士人材のパブリックイメージ

2. どのような取組が不足しているか。どのような取組を行うことが課題の解決に結びつくか。

【議論にあたっての主な視点】

- 国で実施すべき取組（事業、各研究機関や学生への働きかけ、広報など）
- 大学で実施すべき取組（大学院教育、キャリア支援、研究環境など）
- 産業界で実施すべき取組（博士の採用、活用、マッチングなど）